

2024.9.30 一般社団法人日本血液製剤機構 谷澤正明先生をお招きして、診療報酬改定後の当院のあり方を考える講演会を開催しました。

本年は、診療報酬・介護報酬・障害福祉サービス等報酬の改定が行われ、4ヶ月経過後の動向を踏まえたうえで講演会を企画したところです。

開催日時は昨年と同様に、医局会議の時間にあてることによって先生方にも参加しやすいようにしました。その甲斐あって、医師はじめ医療技術部、看護部、事務部から約50名の方に参加いただきました。(感謝します。) 座長は前川事業管理者が務められ、講師の「一般社団法人日本血液製剤機構 谷澤正明先生」を紹介いただいた後、早速、講演会が始まりました。講師いわく、当院の講演で本年度101回目になったそうです。



(谷澤講師)



(会場風景)

### 診療報酬改定後の当院のあり方を考える講演会

2024年9月30日(月)16:00~17:00 (目途) 講義室

【座長】野洲病院 病院事業管理者 前川 聡

#### 【講師】

一般社団法人 日本血液製剤機構 略称(JB)  
事業本部 事業戦略部 主席 谷澤 正明

< 経歴 >  
1988年 (現) 田辺三菱製薬入社、MC 営業部長専任  
2005年 (現) 田辺三菱製薬、営業本部 営業推進部 マネージャー専任  
2014年 田辺三菱製薬より日本血液製剤機構へ転籍、業務戦略部 現職

多くの学会、研究会、講演会のほか、全国100箇所以上の医療機関で医療情報関連の講演会講師として活動  
製薬会社から見た医療機関に関する様々な情報、厚生労働省の動向、各病院の対応状況等を分かりやすく取りまとめた情報誌が発行されている。

#### 【講演内容】

『診療報酬改定が目指した新しい医療提供体制』  
～市立野洲病院はいかに対応するか～

(案内ポスター)

内容的には、医療を取り巻く環境の基本認識、今回の診療報酬改定が目指した目的などを、野洲病院の今後の方向性を示しながら説明いただいたことで、参加した医師からは「急性期の大病院の医療しか知らなかったが当院の立ち位置がよく分かった。当院の取り巻く環境や状況が分かった。説明は分かりやすくとても良かった。」などコメントをいただきました。

また、医療DX、マイナンバーカードについても、具体的な活用や将来性について、例えを引用して説明いただいたので非常に理解しやすいものでした。



(講演風景)

#### 講演会のメニュー

タイトル:『診療報酬改定が目指した新しい医療提供体制』

～市立野洲病院はいかに対応するか～

コンテンツ:

### 医療を取り巻く環境の基本認識

- \* 2040年問題 人口減少と高齢化 地方は2035年
- \* 統合・再編・医療連携推進法人時代へ
- \* 医療DX2030年 全世代型社会保障 社会保障制度の持続性

### ポスト2025年の医療提供体制

- \* 団塊Jrが引退 2035年医療を支える人材不足顕在化
- \* 働き方改革と医療DX イノベーションと効率化の両立

### R06年度診療報酬改定が目指したもの

- \* 賃上げ 医療を支える人材確保 高齢者中等症救急の下り搬送
- \* 入院機能分化促進 ICU・HCU 7:1 新設地域包括医療病棟
- \* 働き方改革元年 医療DX マイナ保険証 電子処方箋 HL7FHIR
- \* イノベーションと効率化・適正化 GE・BS 長期収載品等々

説明はコミカルでテンポが良かったため、用意されたメニューはあっという間に終わりました。気付けば 70分を経過しておりました。

今回は、時間の都合上、会場の参加者からは質問はいただきませんでした。事前質問していた「地域包括医療病棟入院料」のことも含めて説明いただいたことでハードルは高いものの目標はできたと感じました。救急を受けること、下り搬送もしっかり連携を取ってやっていくという命題が理解できました。講師が繰り返し述べられた「高齢者に優しい医療を行うこと」を実践しなくてはなりません。

最後は、前川事業管理者から、「当院の現状の課題と将来進むべき方向性が理解できた。来年も是非講演いただきたい。」と職員を代表して谷澤正明先生に感謝の意をお伝えいただき、盛大な拍手で 75 分の講演が終了いたしました。

我々は、市民病院として市民の医療や健康増進を担っております。これからも持続可能で安定した病院であり続けるため、今回のような講演会を定期的に行うなどし、先を見据えた情報を共有してまいります。

今回の講演会の内容は院内で共有し、職員が振り返り視聴できるようにしております。今後も市民に良質な医療等を提供して行くために、職員が一丸となって取り組んでまいります。